

令和5年6月28日発行

旧村川別荘市民ガイド事務局

我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課

歴史文化財係：今野、手嶋、稲村、柏瀬

〒270-1166

我孫子市我孫子 1684 番地

TEL:04-7185-1583 (直通)

E-mail:abk_bunka@city.abiko.chiba.jp



旧村川別荘だより

188号

6月の月例会を開催しました

6月7日(水)に、6月の月例会を実施しました。5月に実施した研修旅行の振り返りを行いました。

銚子市へ研修旅行に行きました！

○日程

令和5年5月11日(木)

○行程

- ・道の駅多古 あじさい館
- ・銚子ジオパークミュージアム
- ・銚子電鉄(銚子駅一犬吠駅)
- ・犬吠埼灯台

【ジオパークミュージアム】

銚子市ジオパークミュージアムは、銚子市が管理する生涯学習施設で、ジオパークとしての銚子の資料館としての役割を担っています。

当日は、銚子市ジオパーク推進室の岩本学芸員に展示をご案内頂き、なぜ銚子は地理学・地質学的に重要なのかをご説明いただきました。

まず銚子では、ジュラ紀(1億5000万年前)や白亜紀(1億2000万年前)といった古い時期の地層が露出していることが挙げられます。この時期の地層は、他の千葉県域では深く潜り込んでしまうため見ることはできません。



また、銚子の江戸時代以来の一大名所である屏風ヶ浦に関するよもやま話もお話し頂きました。

屏風ヶ浦といえば、鮮やかな地層の露出面が10数キロに渡って見られる名勝ですが、波を受け続け、1年間あたり1メートルも浸食を受けて後退していたのだとか。その浸食を食い止めるために1960年代には消波ブロックを設置したところ、浸食は止まったものの、今度は露出面が更新されず植物が生えてきてしまい、景観を損ねることになってしまいました。また、屏風ヶ浦は九十九里浜の砂の供給源となっていたようで、九十九里浜の砂浜がやせ細ってしまうという問題も発生しているようです。

【犬吠埼】

今回の最終目的地である犬吠埼では犬吠駅から犬吠埼灯台までを巡りました。ここでは銚子市ボランティアガイド「銚子観光船頭会」の鈴木様にご案内頂きました。

銚子観光船頭会は、銚子市観光協会が事務局となっているボランティアガイド団体で、「市民の目線で見たい『銚子』を知ってもらいたい」とうたって、行程のコーディネートも行っています。

犬吠埼灯台は1874年(明治7)に点灯し、灯台と附則舎併せて19万枚以上の国産レンガを用いて建てられました。また1910年(明治43)に設置された霧笛舎には官営八幡製鉄所の鉄が用いられ、犬吠埼灯台にかけられた明治政府の近代化政策への意気込みが感じられます。

そうした歴史的重要性から2020年には国指定の重要文化財に指定されており、日本の灯台50選・世界の灯台100選に選定されています。

事務局より

次回の月例会は7月5日(水)午前9時30分から旧村川別荘新館で行います。